

UGSAS-GU NEWSLETTER

Issue 12

岐阜大学大学院連合農学研究科

2023年1月~12月

第11回 ラウンドテーブルミーティング

(11月8日)

The Roundtable meeting 2023



11月8日(水)、南 部アジア農学系博士 課程教育連携コンソー シアム加盟校(日本を 含む南部アジア地域9 カ国20大学) による 「IC-GU12

Roundtable Meeting 2023 (農学系博 士教育国際連携円卓 会議)」を開催しまし た。協定校から4年ぶり

に8名のリエゾン教員を岐阜大学にお迎えすることができ、対面16名、オンライン13名 にご出席いただきました。平松研究科長からの挨拶の後、各大学の近況報告に続いてキ ングモンクット工科大学ラカバン校のIC-GU12新規加盟が紹介され、同校のChairat Techayuthiporn准教授から大学の概要について説明がありました。その後加盟につい ての採決が行われ、全員の拍手をもってラカバン校の新規加盟が承認されました。さらに加 盟校とのダブルディグリープログラムの今後のあり方に関する提案や検討などが続きました。 会議終了後も対面参加の教員間で活発な情報交換が行われ、今後のコンソーシアムを より充実したものにするための非常に有意義な機会となりました。

第2回 国際ジョイントレクチャー

(11月8日)

International Joint Lecture Series 2023 on Agricultural Science and Biotechnology

ラウンドテーブル後、ポストハーベスト工学をテーマにJoint Lecture Series 2023を開 催しました。IC-GU12加盟大学よりChairat Techavuthiporn准教授(タイ・キングモ ンクット工科大学ラカバン校)、Pongphen Jitareerat准教授(タイ・キングモンクット 工科大学トンブリ校)、Khandra Fahmy准教授(インドネシア・アンダラス大学)、



馬剛助教(静岡大 学)を本学にお招きし、 それぞれの最新の研究 について講義をしていた だきました。IC-GU12の 学生を中心に対面で42 名・オンラインで27名と 大変多くの方に参加して いただき、それぞれの講 義後には熱心に質問を する学生の姿も多く見ら れました。

NEWSLETTER(電子版) 第12号発行にあたり

はじめに, 2024年3月までが研究科 長の任期となっておりましたが, 吉田学長の ご指示で2026年3月までの延長が決 まりました. いろいろとご迷惑をおかけいたし ますが、しばらくお付き合いいただきますよう お願い申し上げます.

さて, 2023年はIC-GU12のラウンド テーブルを一部対面実施に戻すこともで き、久しぶりに海外から多くのゲストを迎える 年となりました. 国内外の優秀な研究者と の交流は研究力の向上に有用な一つの手 段であり、とりわけ国際的な交流を推進す ることが連合農学研究科の一つの役割であ ると考えています. その意味でIC-GU12の 果たしてきた役割は大きく、IC-GU12加盟 協定校からの協力・連携関係は本研究科 の誇るべき財産であるといってよいかと思いま す. 関係の皆様には心より感謝申し上げま す. また, 2023年はフランス・リール大 学, リトアニア・ヴィータウタス・マグヌス大学 との教育連携の協議が進み、これまでの 南・東南アジア地域に加えて, 今後は欧州 との関係が強化されることになりそうです. 連合農学研究科の目指すところは研究力 の向上であり、研究力に裏打ちされた教育 と社会貢献です. 国際共同研究と国際共 同教育を一つの足がかりとして, 本研究科 が国際的な農学研究の拠点となれるように 努めたいと思いますので、今後ともどうかよろ しくお願い申し上げます.

岐阜大学大学院連合農学研究科長

(Cen 19

UGSAS-GU & BWEL 合同ポスタープレゼンテーション (11月8日)

UGSAS-GU & BWEL Joint poster presentation

ジョイントレクチャーに引き続き、本学の流域水環境リーダー育成プログラムと共催で「UGSAS-GU & BWEL Joint Poster Presentation on Agricultural and Basin

Water Environmental Sciences

- 2023」を開催しました。今年のセッションは対
- 面で実施され、参加学生18名が
- Roundtable 2023のため来岐したIC-
- 。GU12リエゾン教員を含む来場者に対し、熱
- のこもった説明や質疑応答を行いました。 最
- 後に最優秀発表2名、優秀発表3名が表
- 彰され、受賞者からはコロナ禍では難しかった
- 対面での意見交換を行う貴重な機会を得ら
- れたことや、日々研究で苦楽をともにしている
- 仲間に対する感謝の意が述べられました。





受賞者の皆さん

ポスター賞受賞者

最優秀発表賞

KOUAME KOFFI PACOME: D3
DANG THI KIM LIEN: D3

優秀発表賞

NATASSIA CLARA SITA: D3

WANG CONGXIAO: D2

SU HAONING: 水環境リーダー

2023年の国際交流について

2023年はIC-GU12加盟大学から来訪者をお迎えするなど国際交流が再開され、講義や意見交換、協定の締結など、今後の学生教育におけるさらなる連携強化に向けて前進する一年となりました。

● VMU(リトアニア) (3月)

連農を中心とする訪問団(神原副学長、平松研究科長、中野研究科長補佐、矢部研究科長補佐、大西教授、今泉准教授)が連携強化のため、リトアニア・ヴィータウタス・マグヌス大学(VMU)を訪問しました。第二次大戦中にユダヤの人々に命のビザを発行したことで知られる杉原千畝が岐阜県出身であることから、リトアニアと岐阜、そして岐阜大学は交流を深めており、今回の訪問もその一環になります。協議においては、VMUと岐阜大学との共同学位(コチュテル)を目指すことを確認し、今後の連携について合意しました。

●キングモンクット工科大学ラカバン校(6月7日)

農業教育学科長 Pattraphorn Patthararangsarith

先生,修了生であるChairat Techavuthiporn 准教授ら名の訪問 があり,産業教育 学部と連農の部局

間協定を結ぶことを

確認しました。



●マリアノマルコス州立大学(7月20日)

シャーリー学長(修了生), アキノ教授(本学客

員教授) 59名 の訪問があり、 本研究科および 連合創薬研究科 との交流を図ると ともに、大学間 協定の更新を行いました。



●チュイロイ大学(8月7日、11月16日、12月5日)

8月には千家前研究科長のコーディネートにより、Quan博士、Tuan博士、Phuong博士(いずれも修了生)が特別講義を行いました。11月にはViet副学長ら、12月にはThai副学長と長らくリエゾンを務めて頂いたNga博士らにご訪問いただき、教育連携について協議を行いました。



連合農学研究科 学位記授与式

3月13日, 9月15日に, 岐阜大学講堂において学 位記授与式が挙行されました。

2022年3月~12月の学位記授与者数:

3月 10名(うち留学生4名)

6月 1名(うち留学生1名)

9月 5名(うち留学生4名)



連合農学研究科 入学式

4月14日, 10月13日に入学式が挙行されました。 2023年度入学者数:

4月 22名(うち留学生8名) 10月 8名(うち留学生7名)



農学特別講義Ⅲ

Special Lecture on Agriculture III

5月に2名の先生をお迎えし、講義をしていただきました。

- ●5月16日 Dr. Noor Soffalina Sofian Seng (マレーシア国民大学)
- ●5月24日 Dr. Komariah (スブラス・マレット大学)

第9回 ICCC

(9月27日)

The 9th International Conference on Climate Change

9月27日(木)、スプラス・マレット大学(インドネシア)、アジア工科大学院(タイ)との共催で第9回 International Conference on Climate Change 2023を開催しました。 今年はスプラス・マレット大学を会場に、「Linking Climate Change and Environmental Security」をテーマに対面と

オンラインのハイブリッドで行われ、本研究科からは平松研究科長より開会の挨拶,田中貴准教授が研究発表を行いました。対面164名、オンラインで121名の参加がありました。



R6~R8年度 国費留学生の募集について

本研究科の「南部アジア地域における農学系博士教育連携コンソーシアムを基盤とする食料・環境科学に関するリーダー育成プログラム」が国費外国人留学生の優先配置を行う特別プログラムに採択されました。2024年度入学から3年間、修士・博士課程国費留学生の募集を行います。博士号取得を目指す優秀な学生がおられましたら、是非ご推薦ください。

【受賞一覧 2023】

- Ke Tian, Masato Yayota (2023). Dietary grains and condensed tannin interact on goat rumen and blood OB CFA: variations in ruminal precursors made the difference. The 131st Annual Meeting of JSAS. English Presentation Award.
- 榎屋百恵, 二宮 茂 (2023). 飼育下アジアゾウの移動継続時間と歩行の特徴. 動物の行動と管理学会2023年度研究発表会. 優秀 発表賞
- Reina F. Osuka, Masamichi Nagae, Yasuhiko Kizuka (2023). Recognition of Glycoprotein Substrates by Glycosyltransferase GnT-V. Glyco26, Glyco26 Poster Awards.
- ●萩野瑠衣,河村奈緒子,今村彰宏,石田秀治,安藤弘宗,田中秀則 (2023).無保護リン酸クロスカップリング反応によるADPJボース関連分子の高効率合成. 糖鎖科学中部拠点第18回「若手のカ」フォーラム,奨励賞.
- ●大畑裕太, 杉本貴史, 藤原亜希子, 田上陽介 (2023). トマトハモグリバエはボルバキアゲノムを取り込むことでCI抵抗性を獲得した. 第67回日本応用動物昆虫学会. ポスター賞.
- ●堀 光代 (2023). 食文化の継承に向けた「岐阜の鵜匠家に伝わる鮎鮨 (鮎なれずし)」の伝統的製法の科学的アプローチ. 文化庁 食文化「知の活用」振興優良事例表彰.
- ●長屋美希, 山家秀信, 古屋康則 (2023). トゲウオ科のオスが分泌する巣材接着物質はメスを誘引するか?. 日本動物学会令和5年度中部支部大会, ポスター発表部門, 最優秀発表賞.
- ●鈴木聖治, 木村琢人, 坂本真吾, 光田展隆, 木塚康彦, 石水毅, 鈴木史朗 (2023). エノコログサにおけるフェルロイルアラビノキシラン生合成に関与する酵素の発現と局在解析. 2023年度日本木材学会中部支部大会, 優秀発表賞.